

## 港区観光ボランティアの会

港区観光ボランティアの会は、港区が実施している育成講座を修了した港区公認のガイドで作られています。「広報みなと」などで募集する「参加者募集ツアー」と、お客様の希望する日時にガイドを派遣する「ガイド派遣サービス」を提供しています。

詳細は、下記をご覧ください。  
「港区観光協会」ホームページ  
(http://www.visit-minato-city.tokyo/ja-jp/)

## ガイド派遣サービス申込方法

1 港区観光協会ホームページにアクセスします。



2 右下の「ボランティアガイド」の「ガイド派遣サービス」をクリックします。



3 タイトルの下にツアーのリストが表示されますので、ご希望のツアーをクリックして選び、内容を確認のうえ「お申し込み」の項目に入力して、「送信する」をクリックください。



- 申込人数:原則として2名以上、20名以内(小学生以上)
- 申込時期:希望日の2か月前から20日前まで
- ガイドの手配が難しい場合もあることをご了解ください

ガイドは、港区南青山のJUNKO KOSHINO デザイン監修の法被を着用してご案内します。

本誌記載の情報は、発行後に変更になる場合もございますので、お出かけの際には、お電話等で事前に確認いただくことをお勧めいたします。

問合せ先 港区観光協会 ボランティアガイド担当 03-6809-5514(平日9~17時)

発行 一般社団法人 港区観光協会 東京都港区芝5-36-4  
編集 港区観光ボランティアの会 発行年月 令和6年1月

## 徳川家と増上寺

天正18年(1590)、徳川家康が江戸入府のおり江戸城近く①の増上寺の前を通りかかり、源善存応上人と対面したのが菩提寺となるきっかけだったといわれています。

江戸城の拡張に伴い、慶長3年(1598)、家康によって現在の場所②へ移されました。



徳川家の保護のもとに、最盛期には現在の16倍の広大な寺有地に3000人の僧侶が修学に励む大寺院でした。徳川将軍15代のうち、6人(2代秀忠、6代家宣、7代家継、9代家重、12代家慶、14代家茂)の将軍と、お江や皇女和宮らその妻子多数が埋葬されています。

これらの霊廟はもともと大殿の南北の広い範囲にあって、立ち並ぶ壮麗な木造建築全てが国宝に指定されていました。昭和20年(1945)の2度の空襲で、その建造物群のほとんどを焼失しました。



明治43年(1910)にロンドンの日英博覧会に東京市が出品し、イギリス王室に寄贈された台徳院殿靈廟の1/10の模型が平成8年(1996)に発見され、平成26年(2014)に長期貸し出して増上寺に里帰りし、一部修復のち、翌年徳川家康没後400年記念に合わせて公開されました。現在も宝物展示室にて一般公開されており、当時の職人の技術の粋で作られていて、細部の加工が見事で一見に値します。

## サラリーマンの聖地「新橋」



新橋は明治5年(1872)に横浜との間に開通した日本初の鉄道の起点駅。SL広場①には、鉄道の発祥の地として蒸気機関車が設置されています。また、新橋は「芝」地区にあり、生粋の江戸っ子を表す言葉に「生まれは芝で、育ちは神田」などといわれていました。それは文化2年(1805)、芝神明(●:芝大神宮)の境内で火消しが相撲とりと喧嘩をした「め組の喧嘩」からきています。体は小さくても、意地と意地のぶつかり合いの喧嘩となれば相撲取りにも引けを取らない。向こうっ気が強く喧嘩っ早い。これが新橋界隈の江戸っ子気質の原点です。



そんな新橋も今では、「サラリーマンの聖地」と言われています。仕事帰りのサラリーマンやOLは、隣の銀座は財布が気になりますが新橋ならば、ガード下から線路沿いに安くて美味しい料理とお酒を愉しめる店がたくさんあります。

一方、幕末に興った新橋花柳界は日本有数の料亭と「芸の新橋」と賞される芸者衆の街として続いています。新橋演舞場②では毎年5月に「東をどり」が公演され、ここでは「一見さんお断り」の花柳界の門が開かれています。

新橋は、粋な江戸っ子気質の歴史を残しつつ、サラリーマンにも優しい町となっています。

## 福沢諭吉と港区

福沢諭吉は、幕末から明治にかけて教育・啓蒙家として新しい日本作りに活躍しましたが、港区にはなじみの場所が多くあります。

中津藩の大版蔵屋敷で生まれ、大阪の適塾でオランダ語を学び、藩命により安政5年(1858)に築地鉄砲洲①の中津藩中屋敷内の蘭学塾の講師として、江戸に移りました。この年が慶應義塾創立の年とされています。

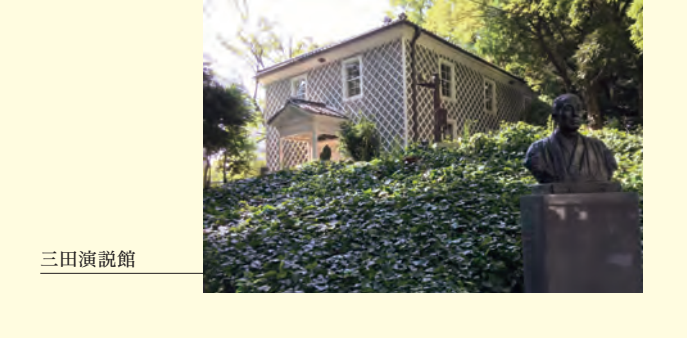
慶應4年(1868)に芝新銭座(現在の浜松町②)に移転した際に、蘭学塾を慶應義塾と名付けて、教育活動に専念するようになりました。3年後には三田の高台にあった旧島原藩中屋敷の払い下げをうけて移転し、現在の三田キャンパス③に至っています。

明治12年(1879)に古川の狸橋④近くの蕎麦屋周辺の土地を購入し、別邸を設けました。その場所の西側に慶應義塾幼稚舎が移転しました。

ドイツから帰国の北里柴三郎に芝の自分の土地を提供して伝染病研究所の設立を援助し(芝公園⑤)、翌年、別邸の東側に土筆ヶ岡養生園(結核専門病院)が開設される際も援助しました。後に北里柴三郎は伝染病研究所を離れて、土筆ヶ岡養生園の隣接地に北里研究所(白金⑥)を創立しました。

明治34年(1901)に脳溢血が再発し、2月3日に66歳で死去しました。葬儀では三田の自邸から麻布山善福寺⑦まで1万5000人の会葬者が葬列に加わりました。葬儀後は上大崎の常光寺に土葬されましたが、遺族の要望で昭和52年(1977)福沢家菩提寺の麻布山善福寺に火葬されて移り、妻お錦と共に安らかに眠っています。

慶應義塾大学 三田キャンパス



## 芝・新橋



COURSE A1 大使館めぐり 虎ノ門コース	COURSE A2 大使館めぐり 三田コース
COURSE A3 芝公園・愛宕コース	COURSE A4 新橋・浜松町コース

港区観光協会



**COURSE A1 大使館めぐり・虎ノ門コース**  
(大使館の中には入れません)

**11 金刀比羅宮**

丸亀藩主金刀高和が、万治3年(1660)郷土より金刀比羅大権現を勧請して邸内に祀ったのが始まりです。大物主神と崇徳天皇を祀り、海上安全の御神徳で有名です。



**12 菊池寛実記念智美術館**

現代陶芸の蒐集家である菊池智が2003年に設立した美術館です。玄閣ホールと地下の展示室はガラス製の手すり美しい螺旋階段で結ばれています。美術館横の洋館は大正末期の有力な煙草商の邸宅で、国の登録文化財です。



**13 大倉集古館**

日本の産業振興・貿易の発展に尽力した大倉喜八郎が蒐集した美術品をもとに大正6年(1917)に創設されました。日本初の私立美術館で、国の登録文化財です。築地本願寺・平安神宮などを手がけた伊東忠太が設計しました。



**14 パーレン王国大使館  
レバノン共和国大使館  
ジョージア大使館  
アルメニア共和国大使館**

アークヒルズ桜坂に面したビル1の入口の幅込みに、入居している大使館4か国のプレートがあり、その国の文字や紋章が表示されています。(ビルには入れません)



**15 アークヒルズ**

アークヒルズはオフィス、住宅、コンサートホールやテレビスタジオなど多様な機能が融合しており、20年近くかかった民間による大規模複合再開発事業の先駆けです。さくらまつりやマルシェなどのイベントも開催されます。



**16 スウェーデン大使館**

地下2階から9階まで建物全体が太陽の光をとりこみやすいように大きなカーブを描く外観になっています。ミカエル・グラニートと加藤義人の設計により、平成3年(1991)に建てられました。一般の人が参加できるイベントやセミナーも開催されています。



**COURSE A2 大使館めぐり・三田コース**  
(大使館の中には入れません)

**21 オーストラリア大使館**

徳島藩森須賀家の敷地を、1952年にオーストラリア政府が購入しました。現在の建物は平成2年(1990)に新設され、建物の上にカンガルーとエミューの像があります。



**22 イタリア大使館**

虎の門から戦後、松平颯岐守の中屋敷跡である現在の地に移転しました。昭和40年(1965)に竣工した現在の建物は、日伊の建築家の合作です。日本庭園は、東京でも有数の由緒ある名園で、澤庵和尚の設計といわれています。裏手の築山に、ここで切腹した赤穂義士の石碑が建立されています。

**23 慶應義塾大学**

福沢諭吉が開校した蘭学塾が起源です。慶應4年(1868)に「慶應義塾」と名付けられ、明治4年(1871)に島原藩中屋敷跡である現在の三田の地に移りました。三田演説館と図書館旧館は国指定重要文化財です。

**24 アフガニスタン・イスラム共和国大使館**

昭和8年(1933)に公使館が飯倉に開設されましたが1945年に閉鎖、1956年に再開しました。そして、90年代後半に内戦の混乱で閉鎖され、その後、平成15年(2003)3月に代々木上原で再開しました。現在の大使館は、平成20年(2008)に開館した中央官庁合同会議所の建物を全面改装した建物です。



**25 日本経緯度原点**

明治7年(1874)に海軍がこの地に観象台を設置、現在の国立天文台の前身となりました。その18年後の明治25年に参謀本部陸地測量部が日本経緯度原点と定め、測量の際の経度と緯度の基準となっています。

**26 聖アンデレ教会**

イギリス国教会の系統に属するキリスト教の教会です。明治10年(1877)に福沢諭吉の支援もあり、英国人宣教師がここに土地を購入したのが始まりです。隣の聖オルバン教会は礼拝すべてを英語で行っています。



**27 オランダ王国大使館**

小諸藩牧野家の跡地です。大使公邸は昭和3年(1928)に竣工した都内でも有数の古い西洋建築です。庭園にはチューリップが植えられています。隣接するオランダヒルズは、芝給水所の未利用容積を有効活用して建設されました。



**28 光明寺**

どなたでもおまいりいただける浄土真宗のお寺で、本堂前のテラスにはイスやテーブルが置かれ、憩いの場として喜ばれています。境内の紅梅に古歌を添えて献上されたことを喜んだ徳川家康が「開運梅」と名付けた木があり、3代将軍家光からは梅上山の号を贈られました。【テラス利用時間】平日9~17時、土日祝休(臨休あり)



コース	出発	移動時間
A1	銀座線虎ノ門駅3出口	3分
	11 金刀比羅宮	5分
	12 菊池寛実記念智美術館	3分
	13 大倉集古館	3分
	アメリカ合衆国大使館	1分
	ミクロネシア連邦大使館	3分
	14 アルメニア共和国大使館 パーレン王国大使館 レバノン共和国大使館 ジョージア大使館	3分
	15 アークヒルズ	3分
	16 スウェーデン大使館	1分
	着 南北線六本木一丁目駅	5分
所要時間(入場・休憩含まず) 約1時間30分		

コース	出発	移動時間
A2	南北線麻布十番駅2出口	5分
	21 オーストラリア大使館	5分
	22 イタリア大使館	5分
	23 慶應義塾大学	5分
	チリ共和国大使館	1分
	赤羽橋	3分
	キューバ共和国大使館	3分
	パナマ共和国大使館	1分
	パラオ共和国大使館	10分
	24 アフガニスタン・イスラム共和国大使館	1分
	25 日本経緯度原点	5分
	ロシア連邦共和国大使館	1分
	ナミビア共和国大使館	3分
	カザフスタン共和国大使館	3分
	トンガ王国大使館	1分
	フィジー共和国大使館	3分
	26 聖アンデレ教会	5分
	27 オランダ王国大使館	5分
	28 光明寺	5分
	着 日比谷線神谷町駅	1分
所要時間(入場・休憩含まず) 約2時間		



コース	出発	移動時間
A3	三田線芝公園駅A4出口	1分
	31 芝公園	3分
	32 芝東照宮	3分
	33 増上寺	5分
	34 東京タワー	10分
	35 青松寺	7分
	36 愛宕神社	10分
	37 虎ノ門ヒルズ	3分
	着 日比谷線虎ノ門ヒルズ駅	
所要時間(入場・休憩含まず) 約2時間		

コース	出発	移動時間
A4	新橋・浜松町コース	
	発 JR新橋駅日比谷口	1分
	41 新橋駅SL広場	3分
	42 烏森神社	5分
	43 旧新橋停車場	10分
	44 汐留シオサイト	15分
	45 浅野内匠頭切腹跡	10分
	46 芝大神宮	10分
	47 旧芝離宮恩賜公園	1分
	着 JR浜松町駅	
所要時間(入場・休憩含まず) 約2時間		

**COURSE A3 芝公園・愛宕コース**

**31 芝公園**

明治6年(1873)に明治政府が日本最初の5つの都市公園(上野・深川・浅草・飛鳥山・芝)の1つとして開園しました。区民が手入れしている花壇では季節ごとの花が楽しめます。



**32 芝東照宮**

徳川家康が祭神で、日光・久能山・上野と共に四大東照宮の一つです。境内の大銀杏は徳川家光が植えたことされています。明治初期に神仏分離令により、増上寺から分離されました。



**33 増上寺**

浄土宗の七大本山の一つです。三解脱門は東京都内数ある古い木造建築物で、国の重要文化財に指定されています。昭和49年(1974)に再建された大殿は東京では最大級の御堂です。安国殿では御祈願の受付も行っています。



**34 東京タワー**

昭和33年(1958)に竣工した高さ333mの電波塔。2019年に展望台とライトアップの大規模リニューアルが完成し、内外ともに東京のランドマークとして相応しい格式に生まれ変わりました。国の登録有形文化財となっています。



**35 青松寺**

文明8年(1476)に太田道灌が創建した当初は、麴町貝塚(今の最高裁判所あたり)にあり、江戸貝塚青松寺と称されていました。その後慶長5年(1600)、徳川家康が江戸城の外堀を作る際に、現在の場所に移転しました。静寂を旨とする曹洞宗の禅寺です。



**36 愛宕神社**

徳川家康が江戸幕府を開くにあたり江戸で最も高い自然の山に、防火・防災の守り神として創建しました。正面の石段は86段あり、故事に因み「出世の石段」と呼ばれています。「羽子板市」「ほおづき市」発祥の地でもあります。



**37 虎ノ門ヒルズ 森タワー**

平成26年(2014)に開業した、森ビルが再開発運営を手掛ける複合施設です。ビルの下を道路が通っています。1~4階は飲食店、47~51階はホテルです。マスコットの「トラのもん」は、22世紀のトーキョーからやって来たネコ型ビジネスロボットです。グッズも販売されています。



**COURSE A4 新橋・浜松町コース**

**41 新橋駅SL広場**

設置されているのはC11292で戦争末期に作られ、中国地方のローカル線の一機関区を最初から最後まで走り続けた珍しい機関車です。鉄道100年を記念し、昭和47年(1972)に新橋駅前に設置されました。12時、15時、18時に汽笛が鳴ります。



**42 烏森神社**

芸能の神と謳われている天竺女命をお祀りしている数少ない神社の一つです。ご利益は必勝祈願、芸道・上達、商売繁盛です。「烏森」の名は、むかしこのあたりは砂浜で、一体は松林で鳥が多く、烏の森と呼ばれていたことに由来します。



**43 旧新橋停車場**

明治5年(1872)に日本で最初に開業した鉄道の駅舎が、当時と同じ場所に再現され、国の史跡に指定された駅舎の遺構が建物の真下に良好な状態で保存されています。



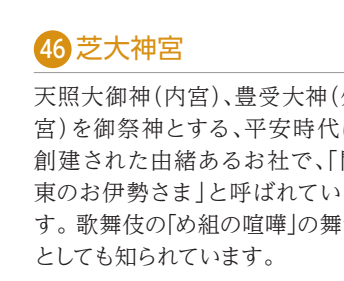
**44 汐留シオサイト**

旧国鉄汐留貨物駅跡地を利用した再開発都市です。「柔らかい公園都市」がテーマとなっています。日本テレビ本社・カレック汐留・汐留シティセンターなど13棟のビルと、イタリアをイメージした「イタリア街」があります。



**45 浅野内匠頭切腹跡**

元禄14年(1701)3月14日、江戸城松の廊下で、吉良上野介に切りつけた赤穂藩主浅野内匠頭がその日のうちに切腹した。田村家上屋敷跡です。石碑が建てられています。



**47 旧芝離宮恩賜庭園**

江戸時代初期に、海を埋め立てて造られた老中久保忠朝の上屋敷跡です。回遊式の大名庭園として梅・桜・藤と季節の花も楽しめます。

